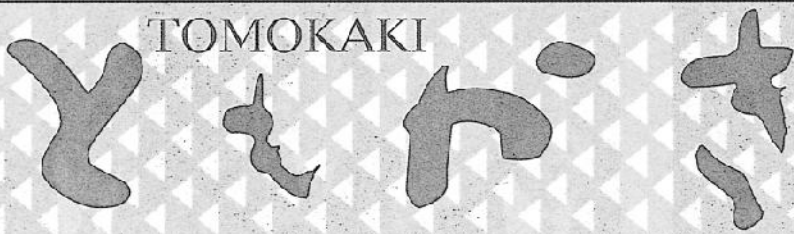


三田高校

TOMOKAKI



第26号

発行所/東京都立三田高等学校

(青葉会・懇親会)

港区三田1-4-46 3453-1991(代)



伝統の継続

校長 米田 敏男

今日の我々の社会は、科学技術の発展により、益々国際化、情報化が深まり、国内社会・国際社会ともに「大きな変化の時代」となっています。

本校教職員一同は、このような時代に対応して、本校の教育目的である、健康で知性が高く情操豊かで、積極的・誠実な人間を育成

する、ということの具現化を図り、社会に有為な人材を育てていきたい、と日々努力を重ね教育活動に邁進しております。

本校は、現在進められている都立高校教育改革の重要な柱として、平成十七年度開校予定の「港区チャレンジスクール(仮称)」として生まれ変わりますが、



京都再訪

教頭 天野 秀人

八月に京都に行った。夏に京都に行くのは、暑すぎて季節外れだという「定説」があるが、

東京とさほど変わりはない。今回の京都訪問の目的の一つは、長女の願望を叶えてやることだった。それは晴明神社の参拝である。映画・劇画等の陰陽師ブームで、安倍晴明邸宅跡にある晴明神社にお参りするの若い人々

の間で流行しているという。実は、陰陽師ブームが起きる遙か以前の十年前に、私は安倍晴明に興味を持ち、京都訪問の際に、晴明神社を訪れたことがある。そのときは、私以外に参拝者は無く実に静かであった。ごく普通の、むしろ小規模な神社であった。

今回行ってみて驚いたのは、参拝者の多さである。またあの古めかしかった神社の社務所が、真新しい白木造りになっていた。

きる。しかし、現実の悩みを解決できるのは、今生きている人間だけである。青葉会会員の



一年を振り返って

会長 若月 義男

皆様には、ぜひ会員同志の交流で悩みを打ち明けあって解決を図っていただきたい。また

母校が懐かしくなったときには、いつでもお出でいただきたい。

会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年十一月二十三日の青葉会総会・懇親会には多数の方々にご出席いただきましてありがとうございます。七十周年行事のあと、また、一年お休みしたあとの開催ということだけで皆様に集まっていただけかどうかが心配でしたが、盛会のうちに終了し、ほっとしました。

また、ともかき発行の大きな財源であります維持費につきまして多くの方々からご賛同いただきまして本当にありがとうございます。

平成14年度「青葉会総会・懇親会」は開催いたしません

次の同窓会は、平成十六年十一月を予定しております。その時また楽しい集いができますよう皆様の変わらぬご支援をお願い致します。